

I D 問答～新たに始まった、我(ら?)が精神の放浪?!～

作：I & D

②②「未必の故意」というものがある！今回、これに該当することがある?!

- I：繰り返しになりますが、またしても、「緊急事態宣言」が出されたのですが、どうも今回は、その「緊急事態」が、それと受け止められていない?というようにも思われますが、どう思いますか?
- D：まあ、それについては、もう少し事態の推移を見なければ、何とも言えないとは思いますが、数字的には、遥かに緊急事態となっていることは確かだと思いますがね!
- I：緊張感が緩んでしまったとか、自粛疲れとか、いろいろ言われますが、深刻な状況になっていることは、明らかなはずですよ!
- D：もちろん、そういうことなのだと思いますが、これについて、最近思うことがあります!それは、今回の状況(原因?)に、ある種の「未必の故意」というものが該当するようにも思うのですが、どうですかね?
- I：え?それは、どういうことですか?私としては、初めて、その言葉を耳にしますが?
- D：確か?法律用語だったかと思いますが、辞書的には、「行為者が、積極的に罪を犯そうとしたわけではないが、自分の行為から結果的に犯罪事実が発生するかもしれないという可能性を認識しながら、そうなってもしかたがないと思いつつ行為する心理状態。故意の場合と同じに扱われる」とあります!ただし、判例等、その詳しいことは、私にはよく分かりません!
- I：あなたが、法律の専門家ではないので、その通りでしょうが、それはともかく、そういうことであれば、そこで言う「罪」とは、この場合は、「他人に感染させること」ということかと思いますが、ある意味、そのようにも言えるのかもしれないですね?!
- D：もちろん、「他人に感染させること」自体は「罪(犯罪)」ではありませんので、何とも言えないのですが、「自分が感染しても、あまり問題はない?それよりは、リスクがあっても、今を楽しんだ方がよい?」、つまり、「未必の故意」というような状態で行動している人達が一定数いるわけです!
- I：特に、元気な若い人達ですね?でも、彼らも、被害者であって、加害者ではないですよ?誰にでも起こり得ることですから?
- D：そうですね?!だから、判断が難しいのですが、ただ、ほとんどの人がそうならないように、可能な限り気をつけている(自粛している)わけですから、まったく責任がないとは言えない?
- I：その限りにおいて、いわゆる「自己責任」が出て来るということですよ?!
- D：そういうようにも思うのですが、表面的(公的?)には、決してそういう言質は出てきません!本当に、そうなのでしょうかと?三度目の今回は、特に、そう思うのです!
- I：分からなくもないのですが、これまでは、自分がそうならなくても、これからそうなるのかもしれないのですよ?不可抗力ということも含めて、そういう意味では、誰にも責任はない?!
- D：確かですね!しかし、それは、何らかの形で、やってはいけないことをやってしまったということでしょうから、それはそれで、当事者は甘受しなければいけない?!
- I：いやいや、やはりそれは、そうとも言えないのではないのでしょうか?どのように感染したのかが分からないまま、そうになってしまうこともあるということですから?
- D：いわゆる「市中感染」と言われているものかと思いますが、例の「エアロゾル化」の状態で、いつ、どのように感染したのかが分からないということですよ?その場合は、確かに、何とも言えないですね?!ただし、それにしても、まったくその可能性がない所では考えられない?!本人が、自覚していない(覚えていない?)所であったとしても、そこに何らかのリスクがあっているならば、やはり、そこに行った(滞在した)という意味での「自己責任」はあるのでは?! (つづく)